



故 紅谷 敦氏

## 紅谷 敦さんを偲んで

アベックス産業株式会社 元木 貢

紅谷 敦さんが去る6月1日、満92才で老衰により天寿を全うされました。

紅谷さんは1924年7月4日に横須賀市の開業医の四男として誕生、旧制横須賀中学を経て盛岡高等工業(現在の岩手大学工学部)を卒業されました。静岡県浜名郡新居町に新設された「浜名海兵団」で初級士官教育を終え、技術少尉として任官、復員後に読売新聞社に入社されました。1964年に縁があって松下電工が開発したネズミ忌避剤「ラムタリン」(成分シクロヘキシミド)のフランチャイズ店としてペストコントロールの事業を立ち上げられ、有限会社東京三洋を設立登記しました。その年は折しも東京オリンピックに備えて東京都殺虫消毒業同業協会が設立され、選手村や競技場の樹木の害虫駆除を受注した年になります。その後、全国のペストコントロール協会の設立の機運が高まり、1968年に全国協会が誕生しました。

紅谷さんは記者の経験を活かして日本ペストコントロール協会機関誌の発行に携わり、1981年に「PCOとは何か」、1982年に「トゥルーリーノーレン物語」、1983年に「PCOが10倍発展する法」など次々に連載され、編集長としてPCOの先駆的な役割を果たしました。東京都害虫防除協同組合の「都虫協だより」、東京都ペストコントロール協会の「ペストコントロー

ル東京」も紅谷さんが立ち上げ、長く編集長をされました。

また、害虫相談員制度を提唱、これが全国の害虫相談所に発展し、昨年は全国で4万件、東京で8000件の害虫相談を受け、行政の後押しをしています。

筑波万博のPCO協議会副会長としても活躍、ご長男の一郎さんが実務に携わりました。そのような功績を評価され、都知事表彰、厚生大臣表彰を受けられました。

紅谷さんの人生は実に粋で洒落でした。

若いころ、よく芝ゴルフ練習場に奥様と連れだって来られたのをお見受けしました。第1回の協会ゴルフコンペ(東京PC会)も主宰されました。今年の3月に一郎さんが幹事を努め、中津川カントリークラブで第101回大会がありました。そのとき私についてのキャディーさんが紅谷さんをよく知っておりました。力の入らない華麗なゴルフでした。

1981年に一郎さんに事業を譲り、業界活動とともに囲碁、将棋、麻雀、そして晩年は俳句に親しまれ、NHK全国俳句大会で特選になり、全国放送されました。

多趣味で人生を謳歌された紅谷さんに心から敬意を表し哀悼の言葉といたします。